

# AJU愛実

認定

編集：特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実  
(大地の家／紙風船)

定価：一部100円

## 第58号 会報

福祉の創造「幸せのロジック」 / 理事長 戸田 真二	P1
2023年度事業報告・2024年度運営方針	P2
2023年度活動計算書	P3
居宅介護事業所あみ	P4
大地の家（生活介護）	P5
紙風船（生活介護）	P6
特集//コミュニケーション研修	P7~P8
一押しのお茶「浜辺の茶屋」他 / 島 しづ子	P9
寄付者名簿	P10

### 大地の家

ららぽーと  
名古屋港アクルスで外食



### 紙風船

トヨタハートフルプラザで  
『ぼーちゃん』公演





## 福祉の創造 「幸せのロジック」

理事長 戸田真二

前回の会報では、笑顔を作ると幸せホルモンが分泌される話を書きました。幸せだから笑顔になれるんじゃない、笑顔でいられるから幸せになれるというロジックがあることに気がつきます。こうしたロジックは福祉の世界にはよくあるように思います。

人形劇団紙風船のテーマは①楽しく元気に出かけよう ②ふれあいつながり大切に ③心からの笑顔を広げようの3つです。人形劇を通して多くの人とふれあい、夢と希望と笑顔を贈り届けに行きたい。そんな思いで活動を30年近く続けて来ました。私たちの活動は正に「夢づくり」です。しかしコロナ禍が続き、人形劇の公演の機会は全くなくなり、外出すらもできなくなりました。この5年間は活動の低迷が続き、メンバーのモチベーションも下がってしまい、テーマとは真逆な日常となったわけです。人形劇の存続さえも危ぶまれていました。そして、ようやく長いトンネルを抜け、コロナ禍の収束により、光が見えてきました。2024年度より外出活動が解禁となり、公演活動が再開されることになったのです。その間、メンバーも入れ替わり、人形劇もリメイクされ新たなスタートを切ることになりました。実際の公演は、多くの人前で演じます。子どもから大人まで、会場全体が温もりに包まれ、そこにはたくさんの笑顔があり、大きな拍手が湧き起こり、また涙する人も・・・、心のバリアフリーを感じる瞬間が多くあります。生まれてからずっと誰かの支援を受けてきたメンバーたちは、常に受け身の人生でした。しかし自分たちが主となり、お客さんからの「ありがとう」の一言は、かけがえのない言葉となって返ってくるのです。夢づくりの活動は「社会の役に立ち、みんなに喜んでもらえる仕事がしたい」ここから始まりました。人形劇が楽しいから生き生きできるのではなく、お客さんに喜んでもらえることが何より嬉しく、元気をもらっているメンバーの姿を見てきました。メンバーの多くは障がいも重く、自己表現をすることが苦手で、人前では緊張が強くなり、手足も自由に動かすことができません。はじめは人形劇なんてとてもできない！と思っていました。しかし公演の度毎に舞台の上で輝いているのには感動します。公演活動は、多くの人と触れ合い、喜んでもらえる経験を積むことによって元気をもらい心から笑顔になれます。利他のために働くことは、必ず自分に返ってくる。これこそ幸せのロジックであるように思います。再出発をする今、改めてこの思いに立ち返り、活動を広げてまいります。是非、皆様からの応援をお願いします。





## 2023年度事業報告

愛実の会は当法人の理念にのっとり、重度の障がいのあるメンバーのサポートに力を入れて、彼らが安心して充実した地域生活を継続的に送ることが出来るよう、他の団体と協力しつつより良いサポートを目指し下記の3つの事業に取り組んでいます。

### (1) 生活介護事業 (障がい者デイセンター愛実:大地の家・紙風船)

契約メンバー数 28名(2024年3月31日現在)1日平均 13.3名の利用(定員20人)

2023年度は、感染対策を講じ休所することなく事業の継続を行うことができた。活動については外出活動の制限を徐々に緩和しながら、メンバーの笑顔を大切に寄り添う支援を実践した。

### (2) 居宅介護・重度訪問介護及び移動支援事業 (居宅介護事業所あり)

ホームヘルプ(身体介護、入浴、通院、外出支援、家事等)を行い、安心できるサービス提供を行った。重度訪問介護については、地域自立生活支援として24時間のケアを実践した。またシェアハウスへの支援を継続的に行うことができた。移動支援事業のサービス利用は今年度も無かった。

### (3) 独自サービス事業

- ① 独自サービス(デイサービスの延長:朝・夕、入院時付添い、通院・外出時の車移動)の実施。
- ② シェアハウス「COPAIN」が2022年9月開所から1年半が経過。月～木の3泊4日利用を繰り返しメンバーも落ち着き、共同生活への認識が確立してきた。地域生活のモデルとして、支援体制は重度訪問介護を活用し、日中は生活介護と連携しながら、法人独自のモデルを実践。

★ 支援体制について 総数35名(2024年3月31日現在)

正職員17名、嘱託職員2名、パート16名(生活支援員・看護師・給食・ドライバー・ヘルパー等)

※ 詳細については、愛実の会ホームページより、見える化→2023年度事業報告を参照ください

## 2024年度 愛実の会運営方針について

- ① 感染症対策及び防災の業務継続計画(BCP)の強化
  - ・新型コロナウイルス等の感染症に関する指針を基に、感染の予防から感染拡大及び事業継続への対応力を強化。
  - ・災害時における業務継続計画(BCP)の見直し及び防災訓練・減災への意識強化
- ② 職場環境の改善
  - ・ハラスメント等の相談窓口の設置
  - ・コミュニケーションを重視し、チームワークの強化及び部署間の円滑化を図る
  - ・個々の気づきを大切にされた取り組みの実施
- ③ シェアハウス「COPAIN」支援体制の充実
  - ・地域生活のモデルとして、安心した暮らしの場の提供及び支援体制の強化
- ④ 愛実の会の活動を地域社会に紹介をしていく
  - ・広報活動及び見える化の促進
  - ・災害時を想定とした地域との共助できるつながりへ



## 2023年度 活動計算書

2023年4月1日～2024年3月31日

特定非営利活動法人 愛実の会

科 目	金 額		単位:円
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費			
正会員受取会費	117,000	117,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	1,528,412	1,528,412	
3. 受取助成金等			
受取助成金	3,261,000	3,261,000	
4. 事業収益			
1)生活介護事業収益	95,691,651		
生活介護事業	92,951,464		
食事収入	2,568,760		
就労支援事業収入	171,427		
2)居宅介護事業収益	39,751,473		
3)臨時特例交付金収入	207,620		
4)移動支援収入	0		
5)独自サービス事業収益	1,279,624	136,930,368	
5. その他収益			
受取利息	316		
雑収益	779,905	780,221	
経常収益計			142,617,001
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	76,621,102		
法定福利費	11,065,000		
福利厚生費	725,750		
人件費計	88,411,852		
(2)その他経費	36,577,644		
事業費計		124,989,496	
2. 管理費			
(1)人件費	12,075,410		
(2)その他経費	4,439,318		
管理費計		16,514,728	
経常費用計			141,504,224
当期経常増減額			1,112,777
法人税、住民税及び事業税			71,000
当期正味財産増減額			1,041,777
前期繰越正味財産額			78,712,723
次期繰越正味財産額			79,754,500

※貸借対照表はWeb:愛実の会ホームページまたは内閣府NPO法人ポータルサイトより「愛実の会」検索にて閲覧することができます。2023年度は150名の方から1,528,412円の寄付を頂き①アシスタント支援体制の強化費 ②紙風船夢づくり(人形劇制作費等)のために活用させて頂きました。感謝を持ってご報告させていただきます。



# 居宅介護事業所あみ

## バリアフリーにはまだまだ遠い…

サービス提供責任者 齊藤 美佐子

余暇支援外出は公共交通機関を利用します。先日、利用したい駅にエレベーターが無いことを駅員さんから説明された時、「えっ！マジで」と声が漏れてしまいました。出発駅から到着駅に昇降機の準備をお願いしてもらい、無事に目的地へ行くことができました。帰りは昇降機利用ではなく、エレベーターのある別の鉄道会社を利用しました。(ちょっと距離あるのよ)

バスでの外出時に到着したバスのどこを確認するかというと、新旧どちらのバスなのか！です。旧タイプだと心の中で「はずれ」とつぶやいてしまいます。新タイプより準備に時間がかかり、尚且つ前後のドアは開いたままの為、夏は暑く冬は寒くなり、車椅子固定に時間がかかると、乗客の視線はこちらに集中し背中に突き刺さり痛い…(泣)

愛知県内観光地も、とれあえず感が否めないバリアフリーがありますが、栄、名古屋駅などの主要な駅でも、車椅子利用はとて不便さを感じます。自分だけの外出ではわからない不便さを、メンバー&利用者のおかげで体験させてもらっています。まあ多少の不便さを感じつつも、目的をもった外出に満足感があり、カフェで休憩したり、美味しいご飯を食べると、苦労した坂道やものすごく遠回りしたことも楽しい経験に変わります。今後も事故なく安全に楽しめることをサポートしていきたいと思います。

### 手動の昇降機



### ボコボコ車椅子用の道



### 楽しみのひとつ



## 余暇支援 ～心の声を聴きながら～

ヘルパー 戸田 真二

6月某日土曜の夕方、まずは床屋への付き添いからスタート。頭はさっぱりスポーツ刈りでかっこよくなった。T君はずっと機嫌がよく独り言をしゃべっている。表情は明るくニコニコ。床屋のあとは念願のお寿司屋さんへ行くことになっていたのである。会話は全く持って成立しない。自宅近くの新しくできたお寿司屋さんに着。注文は電子パネルで選ぶシステムとなっていた。ここはちょっとお高いお寿司屋さん。まずは飲み物から、本人ビールの注文にうなずいていた。ルールに乗って運ばれたビールに真っ先に気づいたのはT君。わたしは気づかず、笑顔でゴクゴク飲みっぷりがとてもいい。そしてたくさんあるネタから好きなものを選ぶのは難易度マックスである。電子パネルのページを一通り見てもらい、最初からゆっくと聞いていく。まぐる専門店なのでまずはマグロから1つ選んでもらった。パクパクとうまそうに1貫を一口で食べていた。出来るだけ本人に選んでもらい、食欲はいつになく旺盛である。最後に店長一押しの大あなごはどう？と尋ねると、うんうんと注文をした。あとで実はあまりあなごは好きではないとのが分かったが、終始笑顔で6皿をペロリ完食。結構なお値段であったが、大満足の表情！何を食べたかは勿論であるが、誰と一緒に食べたかで楽しさは倍増される。共に楽しむこと。これが余暇支援の鉄則である。







# 大地の家

(生活介護)

## 本格的に外出活動が始まりました



↑ららぽーとにて↓



↑グランドボウルにて↓



4月に新年度が始まり、あっという間に3か月が過ぎました。今年度は新メンバーの受け入れが4名ありました。

年度が替わるにあたり、制限のあった外出活動での食事摂取が可能となりました。

昨年度までは外出活動では水分のみの摂取でしたので、公園散策などの短時間の半日外出ばかりでした。

大地の家では今年度はより一層外出活動に力を入れていきます。メンバーもアシスタントも新たに加わったので、以前の外出活動を求めるのではなく、新たな形態を模索したいと考えています。

この4年の間に入職した職員は、メンバーとの外食を経験したことがありません。メンバーについても久しぶりの外出、中には4年ぶりに余暇での外出をされる方もいました。

まずは5月に足慣らしに近隣のフードコート(ららぽーと名古屋みなとアクルス/港区)に外食を目的に出かけました。

6月には大高イオン&名古屋グランドボウル(緑区)に出かけ食事とボウリングを楽しみました。

そして7月には一日がかりの外出を名古屋港水族館(港区)にて行いました。イルカショーを観たり、館内を散策したりしました。

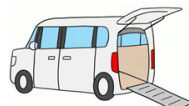
どの外出でも、普段の活動ではなかなか見ることができないようなメンバーの表情を見ることができました。外出での刺激を多く受け、明るく弾けるような笑顔を見せてくれた方が多かったです。中には笑い声を出して喜んでいる方もいました。

エレベーターが少なかったり小さかったり、平日なのに人が多くいたり想定外に時間がかかることもありました。

しかし、メンバーの気持ちが大きく動いた様子を目の当たりにして、アシスタントとしても苦勞をして出かけた甲斐があったとつくづく実感しました。

当分の間は暑い時期が続くので外出活動はお休みになります。また涼しくなってきたら、より一層刺激を受けることのできる外出活動を企画し、メンバーとともに楽しんでいきたいと思ひます。

←名古屋港水族館(イルカパフォーマンス)







# 紙風船のページ



(生活介護)

## 公演活動再開 ～復活ボーちゃん～



- ・6/9 (日) 障がい者入所施設 あしたの丘公演(名古屋市天白区八事)
- ・6/15(土) トヨタハートフルプラザ ボランティア公演(清洲市)

先方より「ぜひ、ボーちゃんを演じてほしいとのリクエストがあり、短い期間に稽古をして公演にのぞみました。本当に久しぶりのボーちゃんでしたが、メンバーは本番に強く、堂々と演じ切りました。どちらの会場でも温かい応援をいただき、皆様と共にふれあい、つながる大切な時間を共有することができ心より感謝申し上げます。

今年度は公演活動を広げていきますので、どうぞ応援をお願いいたします。



## 夢づくりへのご協力のお願い

いつも紙風船の活動にご理解とご協力を頂き本当にありがとうございます。この度人形劇「ポンタとたつくん」を大々的にリメイクすることになりました。8月の北なごやパペットフェスタでのお披露目を目指しています。人形、大小道具類、背景のパネル制作など、費用として40万円の予算が組まれました。新たな夢づくりに向けて、皆様からの温かいご支援をお願いします。



公演依頼を募集しています。多くの方に紙風船の人形劇を観ていただけたら幸いです。また、遠方の方にはZoomでのオンライン公演も実現することができます。どうぞお気軽にお問い合わせください!!

紙風船HP→





## 特集 // コミュニケーション研修

今年度の愛実の会の運営方針の重点課題としてコミュニケーションの重視を掲げました。法人の理念には「相互に信頼しあえる人間関係を築くためにコミュニケーションを大切にする」とあります。今一度、一年を通して、様々な視点からコミュニケーションについて学び、共に助け合い、共に歩み、共に認め合うことを目指していきたいと思います。2024年4月29日(祝) 法人全体研修会にて、グループワーク『バスは待ってくれない』の取り組みを紹介します。

### バスは待ってくれない

『花子さんは歯痛が止まりません。ところが、近所にある行きつけの歯医者は休みです。隣町にも歯医者があるのですが、みんなの集めた情報はバラバラです。彼女を次のバスに乗せるために、情報を出し合い、分かりやすい地図を作って花子さんに渡してください。バスは50分後に発車します』



さあ！バスに間に合った？

ルール ①くじ引きで1グループ6人のグループを作ります

②各グループ24枚の情報が書かれたカードをトランプのように無作為に配ります (1人4枚)

③バラバラに集めた情報を寄せ合い、何もないところから1枚の地図にまとめます

④情報は絶対に口頭のみでカードを見せたり、一覧表の作成も禁止です

⑤制限時間は50分

バスが発車するまでの間に、行き先を描いた目的地までの一つの地図を完成させてください  
情報カードには、曖昧なものや直接関係のない情報も含まれています

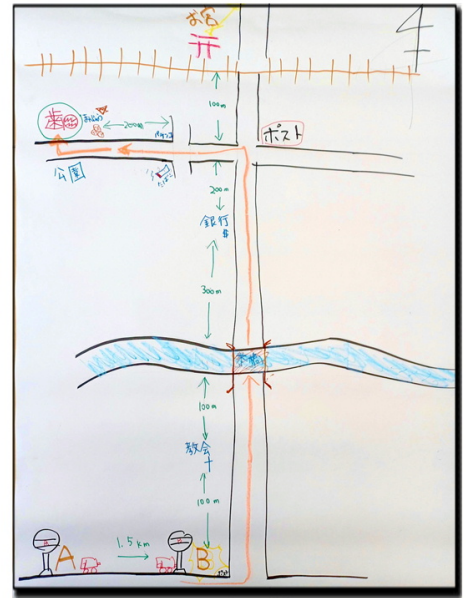
バスは待ってくれないはゲーム感覚で、リーダーシップやコミュニケーション能力向上に活用することができるワークショップです。チーム内コミュニケーションのあり方 = 「情報の処理の仕方」「相互影響関係(リーダーシップ)」「仕事への動機づけ」「集団の意思決定」「発想の転換」などを、楽しく体験的に学ぶことができました。与えられた課題に対して効果的な問題解決のあり方をチームで協力して考える力が求められました。ただ意見を言い合うだけではとまらず、言葉を使ってコミュニケーションをはかることや個々の役割の大切さを体験するチームビルディングのプログラムです。情報をまとめる人や進行役・タイムキーパーなど、誰が率先してその役回りをするのか？リーダーシップの必要性や意見がまとまらないまま制限時間を過ぎてしまったチームもあつたり。チームごとの結果は様々で、意見の食い違いなどコミュニケーションの難しさを改めて実感することができました。「意見は出たのだが收拾がつかなかった」というプロセスの問題、「些細なことに固執してしまい大切なことを見落としている気がするが指摘できない」という合意形成の問題など、個々の気づきやコミュニケーションの大切さを体感することができ、とても有意義な研修となりました。研修の所用時間2時間



## バスは待ってくれない ～ふりかえり～

### 結果発表

正解地図を作成できたのは、3チーム中1チームでした。バスが5分遅れて来たので、なんとか地図が完成しバスに間に合うことが出来ました。制限時間の50分はあっという間で、各グループとも普段とは違い夢中で取り組む様子が伺えました。この研修のポイントは課題に取り組むプロセスがとても重要であり、それぞれが自分の主体性や取り組み方を評価し、自分とチーム全体がどうであった等、感じたことや気づきについてのふりかえりをする事で、研修の学びを深めることができました。



正解の地図

### 参加したメンバーの感想

- ・文字にできなく、言葉だけで相手に伝えて整理することの難しさを感じました。人数が多くなればなるほど、まとめていくことの大変さやみんなが意見を言うだけでなく、相手の言葉を聴きそれをまとめることで達成感を感じました。
- ・声のトーンやスピードへの意識、情報を整理する能力がもっと欲しいので違う課題でまたやりたいなと感じました。
- ・意見を伝え合う時、個人の主観だけでなく、何故そう思うのかを質問したり伝え合ったりできたことが良かった。現場での意見交流にも活かしていきたい。
- ・みんなで作る、理解しようとする姿勢を感じ、納得する答えが導き出せたと思う。
- ・それぞれが持っている情報を聴いてから考えていく余裕の必要性を感じた。
- ・自分の欲しい情報を誰が持っているかが分からないことがストレスとなった。
- ・情報の整理を順序立てて説明すること、相手に自分の話している内容をイメージできるように伝えることが重要だと感じた。
- ・地図の方向などが分かりにくく、自分のカードの情報を伝えるだけで精一杯だったがみんなで作る地図が完成出来てよかった。
- ・チーム内で自分の役立つ努力をすべきだと思いました。役割分担ができるとうれしかった。
- ・耳から得た情報をポイントごとに整理し地図に落とし込んでいく難しさを感じました。
- ・情報をグループで分けて組み立てていくことで地図が完成出来た。
- ・言葉だけで24の情報を整理しまとめていく作業は大変でしたが、楽しくもありました。
- ・自分の情報を相手にうまく伝え理解してもらうことの難しさを改めて痛感しました。
- ・途中で矛盾が生じ、どこで間違えたかを整理したが実際とは違った地図が完成した。
- ・情報の整理において必要なものとそうでないものの優先順位のとりまとめが難しかった。
- ・積極的に発言する人が多く、全員で進められよかった。

## 一押しのお茶「浜辺の茶屋」

島 しづ子

愛実の会の皆さん、愛実の会を応援して下さい 皆さん お元気でお過ごしください。

沖縄に来るお客さんを案内したいお店があります。時々ひとりで行ってモーニングをしたり、頭を休ませたりします。南城市玉城2-1の海岸にある「浜辺の茶屋」です。そこは稲福信吉さんがオーナーです。1994年に稲福さんが何も無い所に喫茶店を開くと言った時、そんなところには誰も来ないだろうと言われたそうです。それでも自分が育った自然そのままに味わってもらい、ゆっくり過ごしてもらいたいという思いで始めたそうです。今では沖縄の他の場所でも開かれているお店の先駆けとなりました。「さちばる やーどぅい」という名で「浜辺の茶屋」の他に「山の茶屋楽水」さちばるの庭、リラクゼーションサロン、庭に点在する宿泊施設などがあります。林の中から海を見渡せる場所には「山の茶屋楽水」があり、ゆっくりと食事ができます。そのお店に行くためには長い階段があります。階段は沖縄に残るグスク(城)の城壁のように積まれています。最初グスクの遺跡の後にお店を作ったのかと思いましたが、「さちばる やーどぅい」で働く方々で道を造り、石を積み上げたというので驚きです。

海外からのお客さんも多く、常に満席なのですが、私は午前中や夕方に行きます。浜辺の茶屋のメニューは沖縄由来の幾種類ものお茶、コーヒー、ジュース。ワンプレートモーニングなど食べ物もお勧めです。食べ物以外のお勧めは沖縄の自然をゆっくりと満喫できるということです。窓際の席からは奥武島や遠くに摩文仁の丘が見えます。目の前は干潮時には700mもゴツゴツした浜が続きサンゴ礁のリーフ近くまで歩けます。満潮時にはすぐ近くまで海水が満ち、カヤックに乗せてもらうこともできます。干潮時に浜辺を歩くとヤドカリのマンションかと思うほどヤドカリがたくさん棲んでいます。お茶をした後、外国からの親子連れ、二人連れなど浜辺に降りて散策している姿も見られます。一番のお店のウリは「ごゆっくりお過ごし下さい」との言葉通りにどんなに混んでいてもお客さんに早く出て欲しいというそぶりを見せません。なによりも沖縄の自然をお客さんに味わってもらい、癒しの時間を提供したいとのがモットーのようです。だから、お客さんは心おきなく自分たちのリズムで過ごし、元気になってお店を後にするのでしょう。那覇空港からは約40分。私の住まいからは車で15分です。ぜひ沖縄に来たら声をかけてください。

## 「二人展・祈り」開催のご案内

2020年6月から水彩画で沖縄の空、海、辺野古・大浦湾を描いてきました。友だちが「島さん、牧師さんだったの？画家さんだと思っていた！」と冗談を言ってくれます。友だちの僧侶かこさんが仏像を彫っています。那覇市で5月に第一回「二人展・祈り」を開催しました。秋に名古屋市の東別院会館で、第二回「二人展・祈り」を開催する予定です。





私の絵は2024年11月26日(火)～12月1日(日)まで東別院会館のロビーに展示します。会館が開いている間は自由にロビーで閲覧できます。

11月30日(土)12月1日(日)は会館の会議室で、かこさんの仏像と私の絵を展示します。その両日は午後1時から約一時間、動画などを見て頂きながら「沖縄報告」をする予定です。入場無料です。是非いらしてください。



## NPO法人愛実の会寄付者名(敬称略・順不同)

2024年3月1日～2024年 6月30日

### ★ 寄付金

大原 由美子  
普天間 ともえ  
梅村 亜恵  
塩田 保  
須田 静代  
戸田 真二  
鈴木 あつみ

栗原 健  
澁谷 和美  
榊原 喜代子  
加藤 勝敏  
西村 清  
安藤 眞知子  
有賀 進

佐野 都吾  
片桐 美由紀  
有村 良子  
佐藤 千萬子  
坂田 昌子  
畦地 優美  
吉谷 尚之(複数回)

教団)愛知教会女性の会  
学)金城学院

教団)名古屋中央教会  
教団)金城教会社会福祉委員会

### ★ 夢づくり

渡邊 誉  
山田 美紀

鈴木 奈美江  
ファミリーマート道德通店



### ★ 物品寄付

南山ハーベストクラブ

2024年度の寄附金目標額 180万円～

- \*アシスタント支援体制の強化
- \*紙風船夢づくり(人形劇のリメイク費用)

私たちにできることを考えながらメンバーとの関わりを大切にしていきたいと思えます。皆さまのご協力をお願い致します。

NPO法人愛実の会は、名古屋市が認定した「認定NPO法人」です。当法人は、公益事業を行う法人として、税制面で優遇を受けています。寄付をした翌年の確定申告時に、当法人が発行する寄付金受領証明書を添付することにより所得から控除を受けられます。寄付金受領証明書は確定申告まで大切に保管をお願いします。

# ボランティアさん募集しています！

人形劇の活動や音楽活動・レクリエーション等  
愛実のメンバーと一緒に楽しみませんか

## 職員募集中！

### 生活支援スタッフ

メンバーの日中  
活動をサポート

**資格不問！未経験OK**

時給 1,130円～

9:00-17:00の間の

6h程度

週3日程度

### 送迎ドライバー

介護職員が添乗  
福祉の経験不問

**ハイエースが中心です**

時給 1,100円

9:00-10:30

15:30-17:00

週4日程度

ご興味がありましたら、お気軽にお問い合わせください。  
良い方がみえましたら、ぜひご紹介ください。

## 【所在地・連絡先】

特定非営利活動（NPO）法人 愛実の会

□ 障がい者デイセンター愛実（生活介護）

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番地の24

TEL：052-693-5897 FAX：052-691-7889

□ 居宅介護事業所あみ（ホームヘルプ）

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番地の24

TEL：052-693-7645 FAX：052-746-2639

E-mail info@aminokai.com

ホームページ http://www.aminokai.com

## 【「認定NPO愛実の会」寄付金のお願い】

郵便振替 □座番号 00850-6-187490

□座名称 特定非営利活動法人 愛実の会 1000円 何円でも結構です

- ◆ 寄付金（賛助会費・NPO愛実の会の活動に関する費用）
- ◆ 紙風船夢づくり（人形劇制作費、公演活動に関する費用）